

120年の軌跡

6

このコーナーでは、宇都宮の120年の歩みを年表と写真で紹介します。

昭和29～34年



◀宇都宮市役所庁舎の落成
市庁舎は昭和20年（1945年）7月の戦災で焼失。その後、昭和29年10月、本町の県庁前（現在の県総合文化センター）に移されました。鉄筋コンクリート3階、一部地下1階、総工費1億9600万円でした。

宇都宮市年表

西暦	昭和	主な出来事
1959	34	▽市水道庁舎完工
1958	33	▽救急車を初めて配置 ▽大通り拡張工事完成（期間8年、工費1億7200万円） ▽宇都宮～上野間の鉄道電力化が完成開通
1957	32	▽宇都宮～東京間即時通話が開始 ▽市下水道工事が開始
1956	31	▽市制施行60周年記念祭を開催 ▽大谷平和観音開眼式を行う
1955	30	▽雀宮町と姿川村が市に編入、それぞれに支所、公民館を置く ▽市庁舎落成および町村合併記念祝賀式を挙行
1954	29	▽「大谷磨崖仏」が特別史跡に指定される ▽平石村、清原村、横川村、瑞穂野村、城山村、豊郷村、国本村、富屋村の全村と篠井村の一部が市に編入、それぞれに支所、公民館を置く ▽市庁舎完成、市役所を本町に移す

▶市制60周年記念祭 昭和31年11月17日、記念式典の後、宇都宮市歌、宇都宮音頭など、歌と踊りの発表が行われました。



はつらつ宮っこ

今、輝いている市民



第98回全国高等学校野球選手権栃木大会優勝

自分たちの野球でつかんだ

54年ぶりの快挙

作新学院高等学校硬式野球部

8月に、甲子園球場で開催された第98回全国高校野球選手権大会で、作新学院高等学校硬式野球部が優勝を成し遂げました。

30年以上、夏の甲子園出場から遠ざかっていた時期もありましたが、2006



第98回全国高校野球選手権大会優勝メダル

年に小針監督が就任し、選手の手を最大限に引き出すことを信条に厳しい練習を重ねた結果、2009年に31年ぶりに甲子園に出場。さらに、2011年からは6年連続の甲子園出場を果たしてきました。

そして、ついに今回、県勢としても54年ぶり2度目の優勝を手にした作新学院。技術だけでなく精神面も鍛えた選手たちは、自分たちの「攻めの野球」を甲子園の大舞台でも発揮しました。

小針監督は「ここまで成長してくれてうれしい。良いゲームをしてきてくれてありがとうと言いたい」と、選手たちを称えます。